

アフターサービス

■サービス（修理、点検）を依頼される前に

- ①6ページの「故障、異常の見分け方と処置方法」「このような時は故障（異常）ではありません」の項をみてもう一度ご確認ください。
- ②正しいご使用にもかかわらず万一故障をした場合は、お買い上げの販売店、または（株）良品計画 お客様室までお問い合わせください。

■保証について

- ①このこんろには「保証書」がついています。保証書はお買い上げの販売店で発行しておりますので、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入されていることを確認して、お受け取りください。所定事項の記入がないと無効となりますので、記入がないときはお買い上げの販売店に申しつけてください。
- ②万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
- ③保証書に記載されている無償修理規定以外は有償になります。

■容器（ボンベ）のお求めは

容器（ボンベ）は、無印良品 カセットこんろ用ガスボンベとご指定の上、お買い求めください。

アフターサービスをお申し付けのときは、つぎのことをお知らせください。

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 商品名、形式名（本体銘板のもの）
- 不具合内容（できるだけ詳しく）
- ご購入日



■補修用性能部品の保有期間について

このこんろの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、5年間保有しています。

無印良品 カセットこんろ保証書

持込修理

型名	RK-1	
お客様	ふりがな お名前	様 ☎
	〒 ご住所	
取扱販売店名・住所・電話番号		
保証期間	お買いあげ日	本体は1年間 (ただし消耗部品は除く)
	年 月 日より	

- 本書は、記載内容の範囲で無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。
- 保証期間中に故障が発生した場合は、お買いあげの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買い上げの販売店にお申し出ください。
- ご購入・ご購入品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書7ページ末に記載しておりますお客様室でんわにお問い合わせください。
- 本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

<無料修理規定>

- 1 取扱説明書・本体注意ラベル等の注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店が無料修理致します。
- 2 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ) 本書のご提示がない場合。
(ロ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合。
(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷
(ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
(ホ) 天災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。
(ヘ) 一般家庭用以外（例えば、業務用）に使用された場合の故障・損傷。
- 3 本書は日本国内においてのみ有効です。

★この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店または株式会社良品計画 お客様室電話にお問い合わせください。

★保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

株式会社
良品計画 〒170-8424 東京都豊島区東池袋 4-26-3
お客様室でんわ 03-3989-5200
FAX 03-3985-7272

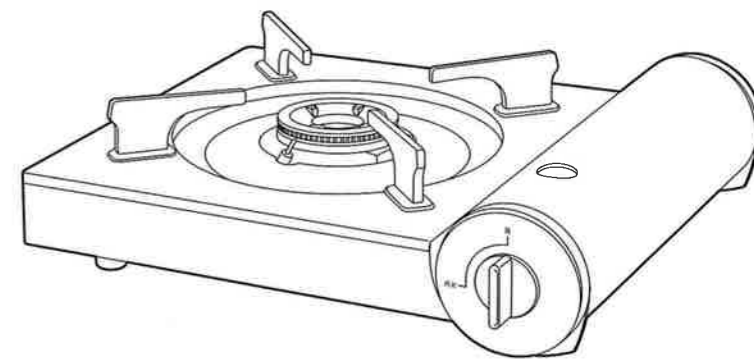
無印良品

カセットこんろ

形名

RK-1

取扱説明書



この度はお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

ご使用にあたっては、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。

なお、お読みになった後はこの取扱説明書をご使用になる方がいつでも見られるように、大切に保管してください。

もくじ

ページ

- 各部の名称、仕様、特長……………1
- 特に注意して
いただきたいこと……………2~4
- 器具の使用方法について……………5
- 日常の点検・手入れ、
故障・異常時の処置……………6
- アフターサービス、保証書……………7

本商品は利便性を追求した簡易こんろです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損の恐れがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。

<ご使用の前に> 製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

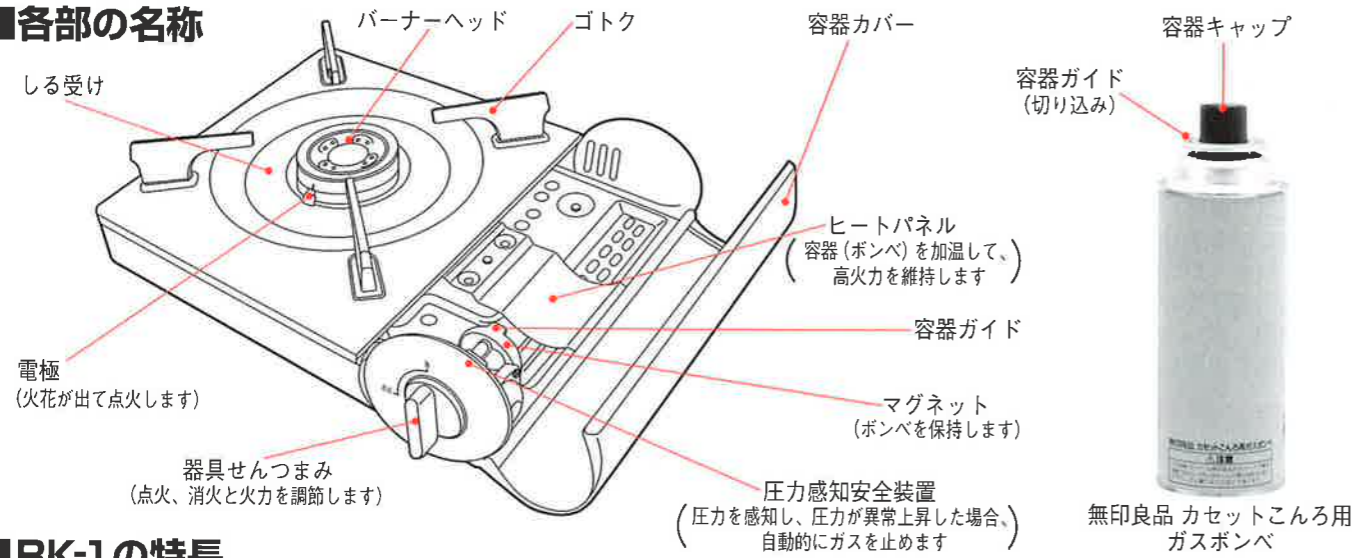
	警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

- 一般的な注意
- 必ず行う
- 一般的な禁止
- 火気禁止
- 接触禁止
- 分解禁止

各部の名称、仕様、特長

■各部の名称



■RK-1の特長

●マグネット着脱式

容器（ボンベ）の取り付け、取り外しが簡単なマグネット脱着式を採用しています。万一、容器（ボンベ）が過熱しても自動的に容器（ボンベ）が外れ、火が消えて安全です。（5ページの「器具の使用方法について」を参照してください）

●ヒートパネル方式

ヒートパネルの採用により、バーナーの熱を容器（ボンベ）に伝えて、容器（ボンベ）内ガスの気化を促進させ、高火力を維持することができます。
[このため容器（ボンベ）が熱くなりますが異常ではありません]

危険防止のための2つの安全装置

[1] 圧力感知安全装置

容器（ボンベ）が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的に容器（ボンベ）がはずれ、ガスの流れが止まり、こんろの火を消す装置です。

圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

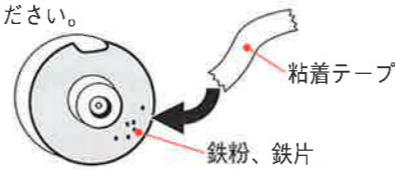
- 器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。
 - 容器（ボンベ）をこんろから取り出してください。
 - 「特に注意していただきたいこと」をよく読んで、原因を取り除いてください。
 - 新しい容器（ボンベ）をセットしてください。
[新しい容器（ボンベ）がない場合には、外した容器（ボンベ）を水で冷やしてからセットしてください。冷やさないと、再び容器（ボンベ）がはずれることがあります。]
- 点火をしてください。もとどおり正常に使えます。

[2] 容器装着安全装置

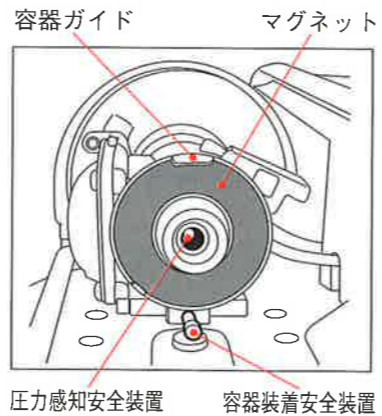
器具せんつまみが「消」になっていないと、容器（ボンベ）が装着（セット）できないようにした安全装置です。

■ボンベ装着時のご注意

マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器（ボンベ）がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



容器（ボンベ）装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。



■主な仕様

機種名	無印良品 カセットこんろ		
型式	RK-1		
点火方式	圧電点火方式		
安全装置	圧力感知安全装置（容器脱着型） 容器装着安全装置		
最大外形寸法（使用状態）	330mm（幅）×301mm（奥行）×87mm（高さ）		
本体重量	約1.7kg		
使用ガス	ブタンガス		
出力（ガス消費量）	3.3kW/h（2800kcal/h 233g/h） <small><周囲温度20～25℃のとき、30分間のガス消費量を1時間換算したもの></small>		
連続燃焼時間	無印良品 カセットこんろ用ガスボンベ使用時：約65分 <small><周囲温度20～25℃のとき、強火連続燃焼にてガスボンベを使い切るまでの実測値></small>		
使用容器	無印良品 カセットこんろ用ガスボンベ		

特に注意していただきたいこと

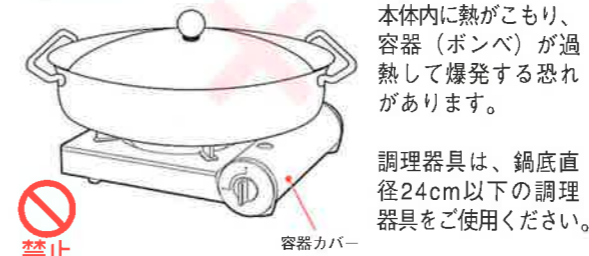
■容器（ボンベ）の過熱注意

警告 次のような使い方は容器（ボンベ）が過熱し、爆発の原因となりますので絶対にしないでください。また、安全装置の作動を招く原因となります。

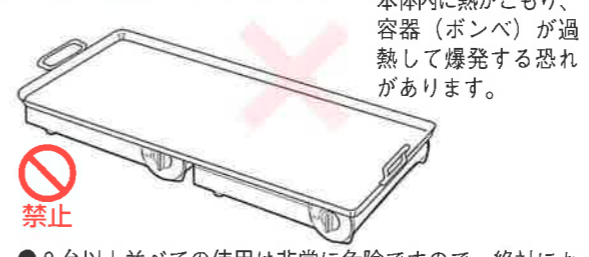
1) 調理容器の空だけは絶対にしない



2) 容器カバーを覆ってしまう大きな調理器具は使用しない



3) 2台以上並べて使用しない



4) 調理以外の用途には使用しない



5) 石綿付焼網器、陶板、セラミックを使用した焼肉器等は絶対に使用しない。また、アルミホイルなどで、ごとくや焼き網等を覆ったりして使用しない



6) 石や砂、陶器などを使った焼きイモ器を使用しない



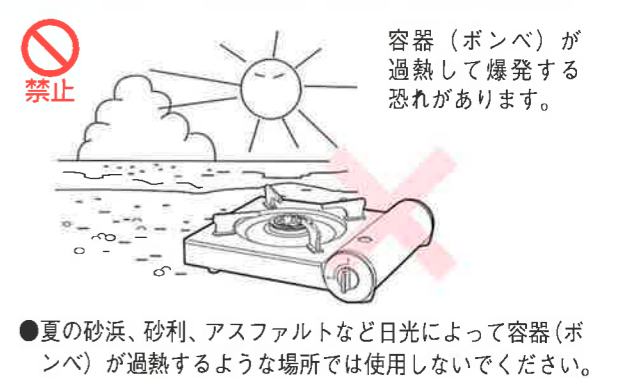
7) 電磁調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない



8) 火気の近くでは使用しない



9) 容器（ボンベ）が過熱する場所では使用しない



特に注意していただきたいこと

■使用容器（ボンベ）とその取扱について

⚠ 警告

1) 火気や直射日光を避ける

火気や直射日光（室内や車内の窓際なども含む）を避けて容器キャップをはめてから風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。また使用後は容器（ボンベ）をこまらから取りはずし、同様の場所に保管してください。



3) 熱気のある場所に放置しない

容器（ボンベ）はファンヒーターの前など、熱気のある場所には放置しないでください。熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり、爆発の原因になります。



2) 完全に使い切ってから廃棄する

●使用済み容器（ボンベ）は必ず完全に使い終わってから資源ゴミとして分別廃棄してください。容器（ボンベ）にガスが残っていると清掃車の火災の恐れがあります。



4) 容器（ボンベ）は火中に投じない

容器は火中に投じないでください。火中に投入すると爆発し危険です。



●容器（ボンベ）を振ってサラサラと音がする場合には、まだガスが残っています。湯を沸かすなどして使い切ってください。



⚠ 注意

1) 専用容器（ボンベ）を使用する

容器（ボンベ）は必ず「無印良品 カセットこんろ用ガスボンベ」の表示のある専用容器を使用してください。他の容器（ボンベ）を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

2) 落下させるような場所で容器（ボンベ）を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火の恐れがあります。

お願い

- 容器（ボンベ）に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップをはずし、保管のときは容器キャップを押し込むだけにしてください。
- 保管している容器は、ときどき点検して、さびが発生している場合は、ガス漏れがないことを確認してできるだけ早くご使用ください。
- 容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まないでください。人体に害を与えることがあります。

■使用場所についてのご注意

⚠ 警告

次のような場所では火災の原因となりますので使用しないでください。



●引火物（ガソリン、灯油、ガスなど）が近くにある場所

引火による爆発の恐れがあります。



●カーテンなどが触れる場所

引火による火災の恐れがあります。



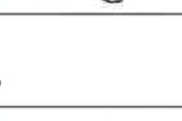
●落下物の危険がある場所

引火や調理器具の転倒によるやけどの恐れがあります。



●熱気のある場所

過熱により爆発する恐れがあります。



●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所

風により炎が横に流れ、本体やテーブルをこがすことがあります。



⚠ 注意

■屋外で使用するときは次のことを注意してご使用ください

- 直射日光のあたる場所では使用しない → 容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- 地面の熱くなっている場所では使用しない → 地面からの熱で容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- こんろの底が砂や小石などで埋まる場所では使用しない → 放熱が悪くなり、容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- 強い風が吹き込んでいる場所では使用しない → 炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。

⚠ 注意

- 風の吹き込む場所では使用しない……風により炎が吹き消されることがあり危険です。
- 不安定な場所では使用しない……不安定な場所で使用すると、こんろがひっくり返り危険です。
- タタミやジュウタンなど燃えやすいものの上では使用しない
- こんろの底部から空気や煙などを吸い込む場所では使用しない

特に注意していただきたいこと

■火災事故、ガス事故防止のために

⚠ 警告

火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

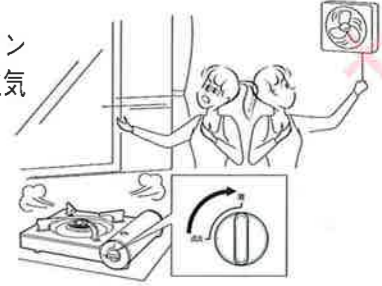
●ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す。

ガスが漏れるとガスのニオイ（くさった玉ねぎのようなニオイ）がします。ボタンガスは空気より重く下部にたまりやすいため、電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。



（引火により爆発のおそれがあります）

- ① 直ちに火を止める。（器具せんつまみを「消」の位置にする）
- ② 容器（ボンベ）をはずす。
- ③ 窓や戸をあけて漏れたガスを外に追出す。



●使用中は換気をする

ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。長時間しめきった部屋で使用すると、酸欠や酸素不足による不完全燃焼で一酸化炭素中毒の恐れがあります。



●予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーを置かない

こんろを使用中、近くに予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーなどを放置しないでください。引火や爆発のおそれがあります。

●火を付けたまま側を離れない

火を付けたまま外出など、こんろのそばを離れたり、就寝しないでください。
・電話や来客などの場合も、いったん、火を消してください。
・特にてんぷらなど揚げものをしているときは危険です。



●子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。

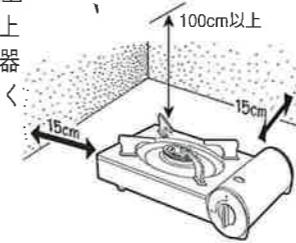
●こんろを衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しない

衣類が落下するなど、火災の原因となります。

⚠ 注意

■周囲の防火措置

●使用の際には家具や壁（木造建築）などの可燃物から周囲15cm以上離してご使用ください。こんろ上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100cm以上離してください。



●塗装、うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上でご使用のときは不燃性の断熱材をこんろの下に敷いてください。（使用中のこんろの底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください）

●調理以外には使用しない

過熱、異常燃焼などによる焼損や火災の危険があります。

●火のついたまま傾けたり、移動させない

転倒するとやけどや火災の原因になります。

●こんろのバーナー付近に顔や手を近づけない

炎によりやけどの恐れがあります。

●使用中および消火後しばらくはこんろに触れない

使用中および消火直後のこんろは高温になっています。しばらくは器具せんつまみ以外には手を触れないでください。

●こんろの下に燃えやすいもの、熱に弱いもの（テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。

お願い

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々燃焼していることを確かめください。
- あまり炎が小さすぎると、風で消されることがありますのでご注意ください。

お願い

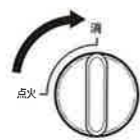


器具の使用方法について

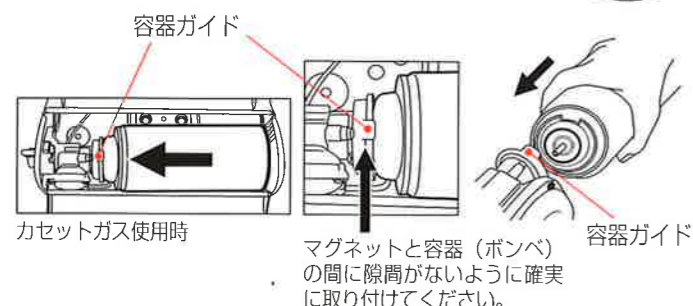
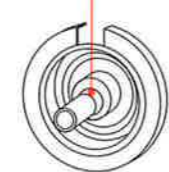
■使用前の準備と確認

容器（ボンベ）の取付け

- 容器カバーを開けてください。
- 器具せんつまみを「消」の方向へ止まるまで回してください。
- マグネットに異物が付着していないか確認してください。
- 容器（ボンベ）の容器キャップをはずしてください。
- ヒートパネルに容器（ボンベ）を載せ、この容器（ボンベ）の切り込みをマグネットのガイドに合わせます。そして、容器（ボンベ）の頭近くに手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、「カチッ」という音がするまで押しつけて装着します。
- 容器（ボンベ）の取付け（装着）力が重い場合には、右図のAの個所に植物油を薄く塗ってください。



A 植物油の塗布箇所

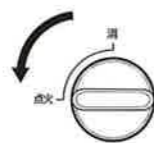


●容器（ボンベ）を装着しましたら容器カバーを閉じてください。

■使用方法

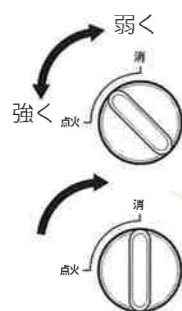
1. 点火する

- 器具せんつまみを点火方向に「カチッ」と音のするまで回し、点火したことを確認してください。点火しない場合は、器具せんつまみをすぐに「消」位置まで戻し、繰返し点火してください。



2. 火力を調整する

- つまみを「点火」方向に回すと火力を強く、「消」方向に回すと弱くすることができます。



3. 消火する

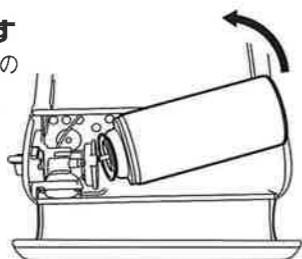
- 器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻し、消火してください。

4. 使用後の確認

- 使用後は、完全に火が消えたことを確認してください。消火直後は本体・容器とも熱くなっていますので、しばらくたってから容器（ボンベ）を取りはずしてください。

5. 容器（ボンベ）を取りはずす

- 容器カバーを開け、容器（ボンベ）の底を持ち上げながら取りはずします。
- 容器（ボンベ）を取りはずしてから容器カバーを閉じてください。



■ご使用前に下記の注意事項をよくお読みください。

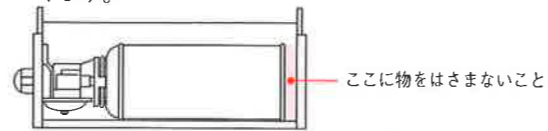
警告 ●使用前には必ずガス漏れの確認、点火、消火の確認をしてからご使用ください。
●故障または破損したと思われるものは絶対に使用しないでください。

注意 ●器具せんつまみが「消」の位置にないと容器装着安全装置（P1参照）が働き、容器（ボンベ）が装着できません。

警告 ●容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。

注意 ●未点火の状態つまみを「消」以外の位置にしておくとしガスが出て危険です。
●使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が高いときには点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。
●点火したときに、バーナーより炎が離れて燃焼しているときがありますが、異常ではありません。2～3分間、器具せんつまみを少し絞って使用してください。

警告 ●容器（ボンベ）の底部と、本体の間に物（小石や厚紙の束など）をはさまないでください。圧力感知安全装置が働かなくなり、容器（ボンベ）が爆発する恐れがあります。



注意 ●炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなりますので、ご注意ください。

注意 ●容器（ボンベ）を取りはずした後も、こんろの配管には少量のガスが残っています。危険防止のため、もう一度残っているガスを燃焼させてください。

日常の点検・手入れ、故障・異常時の処置

■点検・手入れの際のご注意 日常の点検、手入れは必ずおこなってください。

点検	手入れ方法	ご注意
煮こぼれの有無	固く絞った布で煮こぼれをふき取ってください。汚れのとれにくいときは中性洗剤で手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	お手入れの際は、ガス導管（銅パイプ）を動かさないでください。
バーナーの目づまり	ブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。（このとき、電極の位置を動かさないようにしてください。）	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。バーナーはつねにきれいにしておいてください。
電極の汚れ（点火しなくなった場合）	電極の汚れは、乾いた布でふきとってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具せんつまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体・容器（ボンベ）の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つける恐れがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体や容器（ボンベ）を傷つけます。

注意

- 手、指の保護のため、必ずゴム手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、サビの原因となります。
- 点検・手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
- 点検、手入れはこんろが冷えてからおこなってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- 特に煮こぼれたときは、必ずバーナーヘッドの清掃をおこなってください。

■長期間使用しないとき

- 本体などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 器具の各部が十分冷えてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- こんろに容器（ボンベ）をセットした状態のまま保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
- こんろは、ときどき点検して、さびたりしないように、お手入れをおこなってください。

■故障・異常の見分けかたと処置方法 故障かな？とおもったら、次のことをお調べください。

原因	現象	炎が弱く、黄色い	バーナーに炎がつかない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	火力が弱い	ガスのおいがする	使用中に消火した	消火しない	容器がセットできない	器具せんつまみを「消」にしてもガスがもれる	処置方法
他社容器（ボンベ）を使用している	●										●	●	無印良品 カセットこんろ専用容器を使用する
ガスが少なくなっている	●	●					●		●				新しい容器（ボンベ）に取り替える
電極部の汚れ・水分の付着	●												汚れ・水分をふきとる
バーナーの炎口部、目づまり	●	●	●	●	●	●	●						金属ブラシなどで、目づまりを取り除く
点火操作が適切でない	●							●					正しい点火操作をする
ノズルが詰まっている	●	●	●	●			●						点検修理を依頼する
器具せんの故障	●									●		●	同上
圧力感知安全装置が作動	●								●				原因を除去してリセットする
点火装置の故障	●												点検修理を依頼する
器具せんつまみが全開でない							●						器具せんつまみを全開にする
器具せんつまみが「消」になっていない												●	器具せんつまみを「消」にしてセットする
容器（ボンベ）のセット不良	●							●				●	容器（ボンベ）の容器ガイドを正しくセットする
マグネットに鉄片・鉄粉が付着												●	粘着テープで鉄片・鉄粉を取り除く
本体が変形している（歪み）												●	点検修理を依頼する

■このような時は故障（異常）ではありません こんろを使用中に次のような症状が起きましたら故障ではありません。処置方法を参考に対処してください。

現象	原因	処置方法
●点火しにくい ●電極からバーナーに火花が飛ばないで遠くところに飛んでいる。 ●急に火花が飛ばなくなった。	1) 電極とバーナーとの間隔がずれています。 2) 電極の白い部分（セラミック）に水滴が付着しているか汚れています。	●電極とバーナーとの間隔がずれると火花が飛ばなくなったり、別の方向に飛んで点火不良になります。 ●水分、汚れにより漏電しています。取除くとおきます。
●使用中、容器（ボンベ）にガスが残っているのに火が消えた。	1) 異常な使用のために容器（ボンベ）の温度が高くなって、圧力感知安全装置が働いています。	●P1の「圧力感知安全装置」が作動したときの処置方法に従って復帰させてください。
●容器（ボンベ）が装着できない。装着してもすぐはずれてしまう。	1) 保管場所の温度が高く容器（ボンベ）の温度が高くなって、圧力感知安全装置が働いています。 2) マグネットに異物が付着しています。	●P1の「ボンベ装着時のご注意」に従って異物を取り除いてください。